

八月十八日 濟

記録簿  
九月廿五日

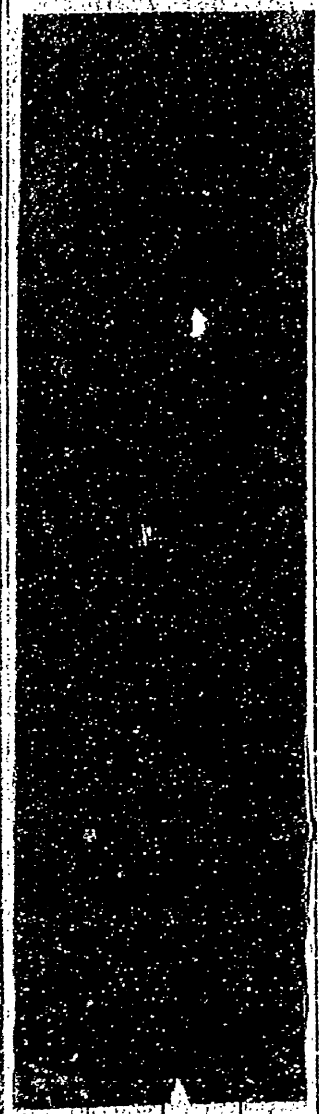
明治十七年八月十日

登録

内長

三書

別紙工部省記及自前神子元始甚中向  
二黒線ヲ畫シ是上右内外計開ラ以廣表シ  
ルル者入事案ノ也



三十一  
海軍省

0604 0603

八月十八日

九月廿一日

明治十七年八月廿一日

登録

内島長

主査

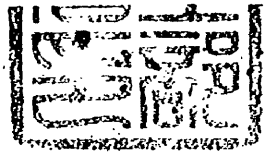
別紙工部省記帳簿面書神子元燈臺申向  
二黒線ヲ畫シ是方内外新聞ヲ以廣告ニ  
スル事入而覚也

川村海軍大臣  
内島長

三

海  
中  
省

0604 0603



送第六八二号

伊豆國神子元島燈臺。白尾  
ナニ為リ濃霧著。際シテハ性  
地物ト雖徳モレノ恐レ有クハ付  
今般右燈臺ノ中間ニ二黒線ヲ畫  
シテ右内好影開リ以廣塔ノ象  
ノ者モクハ申越ス趣モ有クハ有  
此ハ陽正ノ方ハ通知置ル也  
明治七年八月廿日

工部書記官

南ノ海軍大臣御名殿

第二一二〇號ノ三

卅一

0605

--	--	--	--	--	--	--	--

0606

決裁  
八月  
日濟

淨寫

校合

件名簿  
登録

發付

長官

次官



局長



主査



属僚



参査

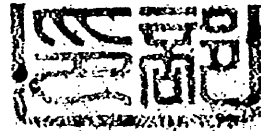
七月廿八日

別紙工部書記長  
神子元燦  
改定  
奉供了(免)也

世  
海軍省

0607





第六四九号

神子元嶋燈臺之儀ニ付獨逸軍  
艦司令官ヨリ申立之儀ニ付貴  
省番第二一三〇号ヲ以テ函達致  
之趣ヲ蒙致候所ハ當省ヲ移テ  
至檢事同意之儀ニ付至急改定  
方着存可致候所同存存心  
得止申進候也

明治十七年七月二十日 林工部大臣御官

南洋南洋大臣御官

漢字第一二〇號

廿三

受付  
七月廿三日  
巖井

0608



決裁  
七月廿二日  
濟

村  
淨寫

校合

証  
証  
証

付名簿  
登録簿

發日

長官

次官

局長

主査  
肥田

係僚  
小田

參査  
村三

七月十七日

市之平三依り左葉子同の也

皇清第二二二〇號

昌百楊乙事般ブリニツ、アタルヘルト考横須入港  
ノ途神子元炊、甚ヨリ二里許ヲ隔テ及、尙航海  
致於、於當日濃霧ニテ燈、甚、頂天ノ黒部ト、臺下  
ノ丘土ヲ認テ、ノ三ニテ、其中、尙白部ノ所ハ、全ク不  
相分、勿論、地回ニ依リ、於、甚、タル、ハ、知得、及、無  
事、經、昌、生、得、ル、方、今日ノ、依、ニ、テ、ハ、濃、霧、等、ノ、節

廿四

0610



吳觀、恐し有之依テ其中間三三ノ黒帯線ヲ  
所觀、於以テ大ニ判然及他物ト認認スル、恐シモ  
有之尚敷且西軍ニテハ斯ノ如キ場所殊ニ英兵  
ノ如キ平常農田ノ地ニ於テハ多ク黒線付帯  
有之古稱乙艦隊日令及コモトルパシヤニ付  
海軍仰、談話有之致趣就テハ移別費用等  
モ要セズ極テ輕便ノ方法ニ付左中計表  
テハ如何ニ於各位置可申進者ト示テ付置  
及中評議表ニ及中評議申進可也

十七年七月廿二日

内 務 長

工部書記官

吉田

0611